

特別支援教育の対象の概念図

[義務教育段階]

平成19年5月1日現在1086万人

義務教育段階の全児童生徒数 1086万人

重

特別支援学校

視覚障害
聴覚障害
知的障害
肢体不自由
病弱・身体虚弱

H19.5.1 0.53% (約5864人)

0.52%
(約5万6千人)

小学校・中学校

特別支援学級

視覚障害
聴覚障害
知的障害
肢体不自由
病弱・身体虚弱
言語障害
情緒障害

H19.5.1 1.04% (約11万3千人)

0.96%
(約10万5千人)

1.86%
(約20万人)

(約22万人)

通常の学級

通級による指導

視覚障害
聴覚障害
肢体不自由
病弱・身体虚弱
言語障害
自閉症
情緒障害
学習障害 (LD)
注意欠陥多動性障害 (ADHD)

H19.5.1 0.41% (約4万4千人)

0.38%
(約4万1千人)

LD・ADHD・高機能自閉症等

6.3%程度の在籍率^{※1}
(約68万人)

障害の程度

軽

※1 この数値は、平成14年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づいたものであり、医師の診断によるものでない。

(※1を除く数値は平成18年5月1日現在)